

国際園芸博覧会共同出展に係る 屋外庭園デザイン（案）

国際園芸博覧会 会場全体図

会場全体図



<概要>

- ・期間:2027年3月19日(金)~9月26日(日)
- ・場所:神奈川県横浜市
- ・主体:(公社)2027年国際園芸博覧会協会



共同出展庭園(大阪府・大阪市・堺市)～デザイン(案)～

いのちの輝き、水と緑がつなぐ大阪の庭

この庭園は、大阪・関西万博のテーマを横浜へと引き継ぎ、訪れたすべての人が「来てよかった。明日も頑張ろう。」と思える、多様な幸せ(ウェルビーイング)を実感できる場所を目指しています。

庭園は、「水」「いのち」「時」の3つのテーマで構成され、未来社会(Society 5.0)への希望を表現しています。

< 3つのテーマ >

水(みず): 活気あふれる水都大阪を象徴し、生命の源としての水が、都会的な楽しさと生命の活力を表現します。

いのち(生命): 花とみどりの豊かな輝きを通じて、植物の生命力が来園者に元気と活力をもたらします。

時(とき): 大阪・堺の歴史と未来社会を結びつけ、過去から未来へ続く希望と深みを感じさせます。



共同出展庭園(大阪府・大阪市・堺市) ~ゾーンイメージ~

「水の庭」 で大阪の活気を体感(エントランス)

- ・水都大阪を象徴する堀(水盤)や石垣、噴水、イチョウやナニワイバラが来園者を迎え、都市の「にぎわい」と活気を体感できるゾーン



「時をたどる道」 で大阪・堺の歴史に触れる(過去・現在)

- ・大阪・堺の歴史文化に触れるゾーン
- ・茶筌をモチーフにした竹オブジェや、古墳をイメージした植栽を通じて、過去から現在へと続く時間の深みを感じてもらう



「未来のゲート」 でSociety 5.0を感じる(未来)

- ・旅の終着点として、Society 5.0が目指す「人間中心の社会」を象徴するゲートのあるゾーン
- ・内部に設置されたモニターで、大阪の未来のまちづくりを映し出し、未来への希望を提示する



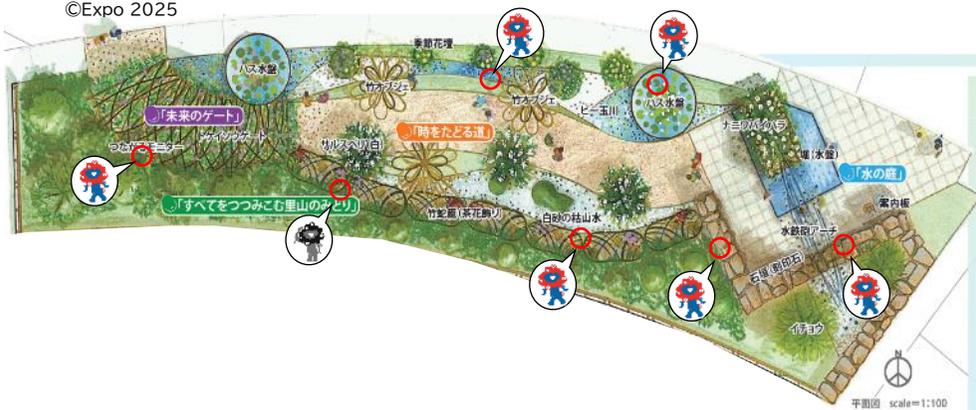
大阪・関西万博を想起させ、大阪の魅力を広く発信する取組（検討案）

隠れミヤクミヤク



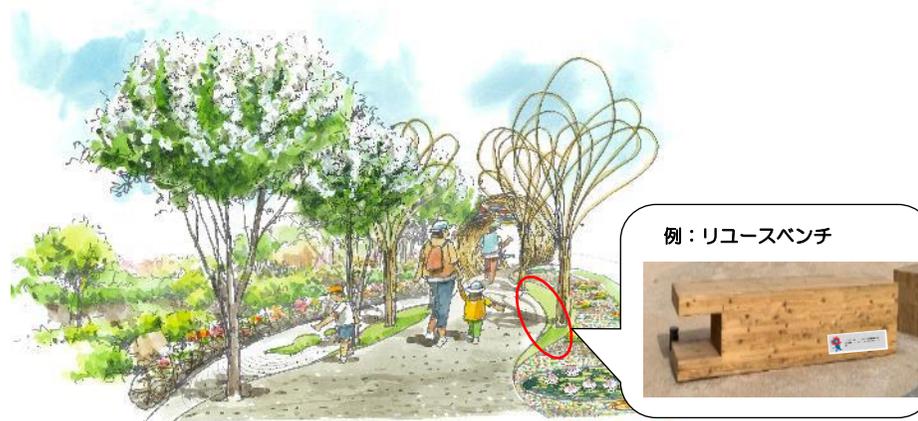
大阪・関西万博
公式キャラクター ミヤクミヤク
©Expo 2025

庭園内の7カ所に**隠れミヤクミヤク**配置し、
ミヤクミヤク探しを通じて、
万博の活気体験や思い出を想起させる
仕掛けをつくる



大屋根リングのリユース

大屋根リングをリユースしたベンチ等を設置し
万博レガシーの継承と資源循環の推進を図る



※ベンチ等には大屋根リングのリユース材から制作したことを表示

大阪城刻印石（残念石）



刻印石（残念石）を展示

※収蔵庫保管の刻印石を展示

堺ブランド桜「与謝野晶子」



堺出身の歌人から名づけられた
堺ブランド桜「与謝野晶子」を使用

※堺市が育苗し、平成30年に新品種
として品種認定

現在、関係機関と協議中であり、今後、内容を変更する可能性があります。

※写真や設置位置はイメージです